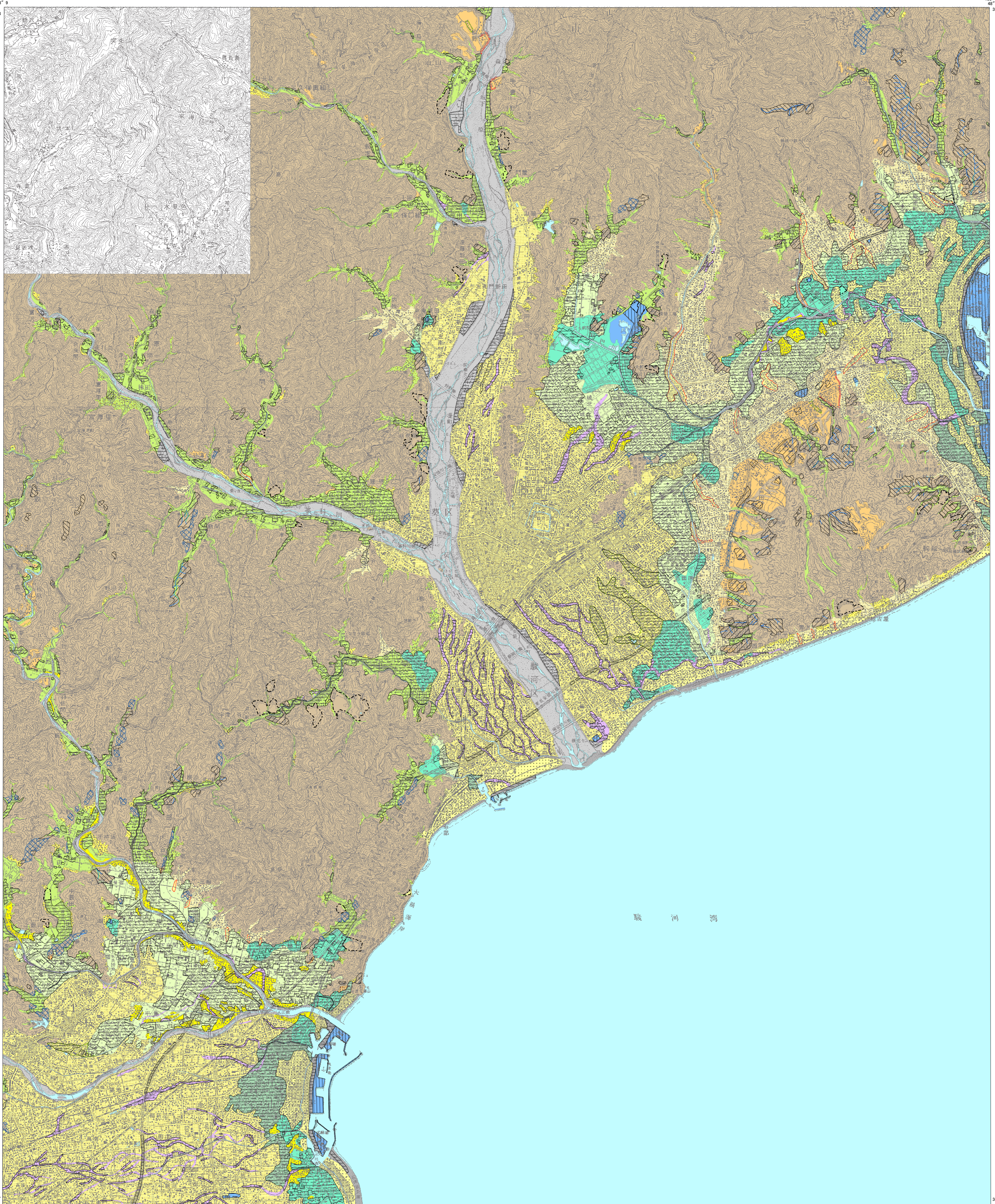


1:50,000  
しずおか

土地分類基本調査図(土地履歴調査)

平成二十四年度調査



凡例 Legend

**人工地形分類 Artificial Landform**

- 人工平坦地(切り盛り造成地) Artificial ground (cut and fill)
- 宅地等 Flatland for residential use
- 農地等 Flatland for agricultural use
- 改変工事中の区域 Area under modification
- 盛り土 Fill-up land
- 埋立地 Reclaimed land
- 干拓地 Drained land
- 切土地 Cut slope
- 旧谷線 Buried valley

**自然地形分類 Natural landform**

山地 Mountains

- 山地斜面等 Mountain slopes
- 崩斜面及び崖壁 Colluvial slope or Talus
- 土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow

台地 Terraces and upland

- 砂礫台地(更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)
- 砂礫台地(完新世段丘) Gravel terrace (Alluvial terrace)

低地 Lowland

- 緩傾伏地 Gentle alluvial fan
- 扇状地 Alluvial fan
- 谷底低地 Valley bottom
- 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
- 自然堤防 Natural levee
- 旧河道 Abandoned channel
- 湿地 Wetland
- 三角洲・海岸低地 Delta or Coastal lowland
- 砂州・砂堆(礫州・礫堆) Sand bar
- 砂丘 Sand dune
- 天井川及び天井川沿いの微高地 Raised bed river
- 河原・河川敷 Dry river bed
- 浜 Beach

水部 Water

- 現水部 Recent water surface
- 旧水部 Former water surface

副分類 Subdivision of Natural landform

- 崖 Cliff
- 凹地・浅い谷 Shallow valley on terrace or alluvial fan

平成二十五年三月発行

国土交通省 国土政策局

摘要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
- 作業機関 国際航業株式会社
- 背景地図 数値地図50000(地図画像) 清水 平成18年修正 静岡 平成18年要部修正
- 対応する二次メッシュコード 523822, 523832, 523833, 523842, 523843

行政区画 索引図

井川	南部	富士宮
千原	清水	吉原
家山	静岡	駒越
掛川	住吉	

( )内は所属20万分1地勢図名

静岡県 1.藤枝市 2.静岡市 3.焼津市

1:50,000 静岡

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第534号)」

- 自然地形分類は1:25000土地条件図「清水」「静岡」(国土地理院 1981)を基礎資料として編集したものである。編集にあたっては、以下の既存資料を参考に空中写真の衛星画像に1:1修正を行った。5万分の1土地分類基本調査(地形分類図)「清水」(静岡市、1974)、「静岡」(静岡市、1973)判読に使用した空中写真はM191-A-5(昭和21.7.11 米軍撮影)、M300-A-3(イ) (昭和21.10.27 米軍撮影)、M450(昭和22.9.8 米軍撮影)、M724(昭和23.1.8 米軍撮影)、M724-1(昭和23.1.8 米軍撮影)。
- 人工地形分類図は2万5千分の1地形図「清水」(平成17年更新)、「静岡東部」(平成17年更新)、「牛久保」(平成17年更新)、「静岡西部」(平成17年更新)「焼津」(平成10年部分修正)の範囲、及び空中写真(CB-2004-1X、CCB-2001-1X国土地理院撮影)の判読により作成したもので、基本的には平成16年時点の地形の状況を反映している。
- 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成21年発行、「静岡」(平成18年要部修正)、「清水」(平成18年修正)。
- 自然地形分類の現水部については、基礎地図情報の水涯線及び海岸線データ(2008年6月3日公開)を参考に作成した。
- 本図の作成にあたっては、奈良大学の海岸正倫教授、南山大学の藤本 園教授、名古屋大学の堀 和明准教授の指導をいただいた。